

現代女性とキャリア連携専攻の昨年度報告および本年度の状況と展望

額田 春華

1. はじめに

現代女性とキャリア連携専攻は、現代女性の生き方や働き方について多様な視点から学び実践していく力を育成していくことを目的とする目白キャンパス（家政学部・文学部・理学部）の全学生に開かれた副専攻である。

2. 履修状況

現代女性とキャリア連携専攻のカリキュラムは、コア科目と選択科目群の2つの柱から構成される。指定された単位数を修得することにより、卒業時に修了書が発行される。

コア科目には、「現代女性論」「現代男性論」「日本の女性史」「世界の女性史」「女性と身体」「女性と職業」の6つがあり、これらの中から4単位以上の修得が必要である。一方、選択科目は、「女性文化関連科目群」「ワークデザイン関連科目群」「ライフデザイン関連科目群」の3つの科目群から構成される。各学部の専門科目や教養科目の中で本専攻の目的に適合する科目が本専攻の選択科目へ多数提供されているが、それらの中から学生は各科目群が最低4単位以上になるよう配慮しながら、コア科目と選択科目の総計が24単位以上になるよう履修計画を立てる。

2014年度の本専攻の修了者数は、3学部合計で23名であった。修了者数は2011年度38名、2012年度16名、2013年度40名と隔年でアップダウンしており、2014年度は23名へと再び減少している。委員会では広報や学生への周知に力を入れてきただけに、今回の再びの修了者数減少は残念なことである。

表-1は、2013年度と2014年度の修了者数を学科別に整理したものである。家政経済学科、英文学科、史学科の減少が特に大きいことがわかる。3学科の減少の直接的な理由を委員会では把握できていないが、今後の動向を注視していきたい。

表－１ 学科別の現代女性とキャリア連携専攻修了者数

| 学 部 | 学 科 | 2013 年度修了者数 | 2014 年度修了者数 |
|-------|---------------|-------------|-------------|
| 家政学部 | 児 童 学 科 | 2 | 3 |
| | 食 物 学 科 | 0 | 0 |
| | 住 居 学 科 | 2 | 0 |
| | 被 服 学 科 | 0 | 0 |
| | 家 政 経 済 学 科 | 9 | 4 |
| 小 計 | | 13 | 7 |
| 文 学 部 | 日 本 文 学 科 | 8 | 9 |
| | 英 文 学 科 | 9 | 2 |
| | 史 学 科 | 7 | 4 |
| 小 計 | | 24 | 15 |
| 理 学 部 | 数 物 科 学 科 | 1 | 0 |
| | 物 質 生 物 科 学 科 | 2 | 1 |
| 小 計 | | 3 | 1 |
| 合 計 | | 40 | 23 |

なお本専攻を修了見込みであることを学生が就職活動でも生かせるようにするというねらいで、今年度より卒業前でも希望者には所定の手続きを踏むと修了見込証明書を発行することになった。今年度の学生からの反応を見ながら、修了見込み証明書発行の効果を委員会としても観察していきたい。

次に本科目の基盤となっているコア科目の履修者数の変遷をまとめた表－２をご覧ください。コア科目の履修者数は 2013 年度まで徐々に減少してきていたが、2014 年度に 320 名から 445 名へと大幅に増え、2015 年度も 425 名と履修者数を維持する予定である。2014 年度の修了者数は大きく減少したが、コア科目への一定の評価は維持できている可能性がある。科目別に見ると、前期科目の「日本の女性史」の履修者数が前年度の 4 割弱へと大幅に減っていること、2014 年度に大幅に受講者数が増えた後期科目の「女性と身体」が今年度も 168 名予定ということで非常に多くの履修登録がなされていること、同じく後期科目の「現代女性論」が前年度の 2 倍の受講者数の予定者であることがわかる。

表－2 コア科目の履修者数の変遷

| 科目名 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 |
|----------|------|------|------|------|------|
| 女性と職業 | 68 | 46 | 39 | 35 | 33 |
| 現代女性論 ※ | 87 | 69 | 51 | 45 | 94 |
| 現代男性論 | 96 | 78 | 73 | 56 | 45 |
| 日本の女性史 | 67 | 106 | 98 | 110 | 41 |
| 世界の女性史 ※ | 49 | 35 | 27 | 57 | 44 |
| 女性と身体 ※ | 18 | 20 | 32 | 142 | 168 |
| 合 計 | 385 | 354 | 320 | 445 | 425 |

但し、2015年度の※の科目については、後期開講科目であるので実際の履修登録者は変更になる可能性がある。

3. 「女性と職業」について

次に「女性と職業」の2015年度のゲスト・スピーカーについて紹介する。この科目では、各学科の卒業生をゲスト・スピーカーとして招き、女性の職業の実態を具体例として提示していただきながら女性のキャリア形成について考える講義が実施されている。各学科のご協力を得て今年度もさまざまな年代にまたがる表－3に示すような多様な業種・職種の卒業生のご講演をいただけることになった。

さらに今年度初めて、本学のリカレント教育課程の卒業生の方もゲスト・スピーカーとしてお招きすることになった。受講生から、仕事をずっと継続してきた女性のお話だけでなく、結婚・出産等ご家庭の事情でいったん仕事を中断した後、再び再就職し自分らしい生き方を模索してがんばっていらっしゃる女性のお話をうかがってみたいという要望があったことに対応して始めた新しい試みである。

表－3 「女性と職業」2015年度のゲストスピーカー

| 学科 | 業種／職種（卒業・修了年） |
|---------|---------------------------|
| 児童学科 | 教育 幼稚園教諭（2005年卒） |
| 食物学科 | 医療 管理栄養士（1998年卒） |
| 住居学科 | 建築設計 建築設計（1990年卒） |
| 被服学科 | 専門商社 マーチャンダイザー（1993年卒） |
| 家政経済学科 | 官公庁（国家） 調査官（1993年卒） |
| 日本文学科 | 出版 SE（1992年卒） |
| 英文学科 | 放送（1991年卒） |
| 史学科 | 機器・ソフト製造 ゲームプランナー（2014年卒） |
| 数物科学科 | 放送 営業（2004年卒） |
| 物質生物科学科 | 製薬 渉外（1987年卒） |

注）2015年度は上記以外にリカレント教育課程の卒業生のゲスト・スピーカーにご協力いただく。

4. 今後の課題と展望

今後に向けての最大の課題は、本専攻の履修学生がなかなか増えない現実にある。本専攻は女子大らしい本学のよさや資源を活かすことのできる副専攻であるだけにその原因をきちんと解明し、必要な改善を進めていくことが求められる。履修数低迷の原因としては、広報活動がまだまだ不足している点、履修ガイダンスでの周知の方法の問題、年間の履修単位数の上限の影響等も考えられる。これらについては委員会内で検討・改善を進めていきたいが、これらに加え、目白キャンパスに「現代女性とキャリア連携専攻」と「キャリア形成科目」があり、さらに西生田キャンパスに「キャリア女性学副専攻」があり、似たようなキャリア関連科目が並行して開講され、学生が混乱しやすいことにもあるのではないかと委員会では考えている。この点については委員会内だけでは解決が困難であることから、昨年度末に大学改革委員会委員長宛に本委員会より意見書を提出した。この意見書を大学改革委員会では真摯に受け止めてくださり、今年度は大学改革委員会の下にキャリア教育分科会が、また学園総合計画委員会の下に部会が設置され、具体的な議論がなされることになった。学生たちにとってわかりやすい魅力ある専攻・科目のあり方へと議論が進むよう、本委員会もこれら外部の関係組織での討議に協力していきたいと考えている。

(ぬかだはるか 家政学部家政経済学科講師・現代女性とキャリア連携専攻委員会委員長)